

## 県内の中小企業にとってより良くCSR活動をしていくために足りないものはなにか？

### Abstract

We are researching the relationships between CSR(Corporate Social Responsibility) and small and medium sized companies. We think this is beneficial to society because many profits are provided by CSR activities. For example, participating in local events such as “Matsuri” gives companies a good reputation. For research, we went to companies' websites and also we visited actual companies(ex. Fukui bank、Megane Museum). We talked and discussed with their staff. They gave us so many new perspectives. From this research, we learned that small and medium sized companies don't understand CSR well enough. And also we read many articles about the economic effects of CSR activities. Therefore, it is necessary for companies to have some means to understand CSR. From this finding, we started making a pamphlet to make CSR well known through companies. This is important because there is no research or action like this on the internet. So this research can give new ideas and trigger small and medium sized companies to start CSR activities.

### 1 はじめに

#### CSRとは

CSR(Corporate Social Responsibility)は、企業が直接的に利益につながることのみでなく、周辺社会、ステークホルダーのための社会貢献活動も行っていくべきであるという考え方である。(参考文献8)

「CSR とは、その自社が行うべき本業とイコールであり、自社の経営理念やミッションを具体化する取り組みであると考え。」

#### CSRの例

##### 福井銀行

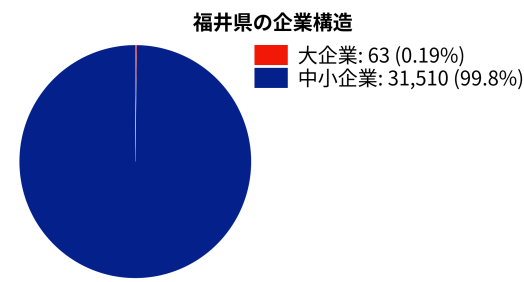
- ・地域への貢献活動
  - ー地域行事への参画、清掃ボランティア
- ・環境への貢献活動
  - ー森林整備活動、ペーパーレス
- ・教育への貢献活動
  - ー金融経済教育
- ・地域への貢献活動
  - ー会社周辺の清掃実施
- ・芸術・文化への取り組み
  - ー欠損した絵画の修復
  - ーコンサートなどの実施

#### 問いの経緯

CSR活動を行っている企業の大部分は大企業であり、中小企業はCSRをあまり行っていない企業が大半である。参考文献10では、福井県内の企業240社のなかで6割以上の企業が実際にCSR活動に取り組んでいると報告されている。この6割という数字は全国的には、高い割合であるがそれでも4割の企業がCSR活動を行っていないということになる。(ここではわかりやすいよう、上場企業を大企業とし、上場していない企業を中小企業とする)そして前提として福井県の企業は99%が中小企業であり、1%が大企業といった偏った産業構造をしている。(図1)

僕たちは、1%の大企業ではなく、99%の中小企業に着目した。その理由としては、中小企業は大企業と比べてCSR活動の恩恵をうける人と企業との距離が近く、親密であり、企業が早いスパンでCSR活動の利益を受けられると考えたからである。そして、「県内の中小企業にとってより良くCSR活動をしていくために足りないものはなにか」を突き止め、県内の企業の大半である中小企業のCSR活動を行いやすくし、CSR活動を行っていない4割の県内の企業のCSR活動を促進することができれば、その活動が小規模であったとしても、福井県の地域社会が一步ずつより良くなっていくのではないかと考えたので、この問いをたてた。

図1



## 2 方法

まず、福井県内の企業の行っているCSR活動の具体的な内容を調べるために、15社以上の県内企業のホームページを訪問した。  
注意して見た点としては

- ・どのくらいの規模の会社か
- ・どのようなCSR活動を行っているか
- ・そのCSR活動は地域の人々と関わっているか

次に企業訪問を行ってCSRのことを質問した。  
具体的に質問した内容としては

- ・CSRをまず知っているか、どのようなものかを理解しているか
  - ・CSRをする目的は？
  - ・CSRのメリット、デメリットなど
- である。

## 3 調査結果

企業への社会貢献活動を行わなかった理由のアンケートで、「社会貢献活動を行うきっかけが掴めなかったため」と答えたのが13.6%、「社会貢献活動に関する知識やノウハウがなかったため」と答えたのが11.4%である。(表1)

福井県民への社会貢献活動を行わなかった理由のアンケートで、「活動場所や内容等、ボランティア情報が分からない」と回答したのが29.1%

このことから、福井の人々は社会貢献活動、CSRへの理解度が低いことと企業側もCSRについての理解が不足しているためCSR活動が十分に行えていないことがわかった。

加えて企業訪問より、「正直、僕たちも、CSRがなにかよくわかっていない部分がある」といった意見を得ることができた。

また、先行論文より大企業と中小企業のCSR活動に関する差異についての情報も得られた。表3に見られるように、中小企業と大企業とではCSR活動の捉え方から大きく違っていることがわかる。特筆すべき点は、ステークホルダーへの意識であると考えます。表には、「親しい関係を持つ」と書かれている。これは、私達が中小企業のCSRに着目した理由の一つであり、実施していくうえで大切な要素となっている。

表1

表20 企業が社会貢献活動を行わなかった要因

| 企業が社会貢献活動を行わなかった要因       | 割合    |
|--------------------------|-------|
| 業務が多忙で時間がなかったため          | 52.1% |
| 社会貢献活動を行うきっかけがつかめなかったため  | 13.6% |
| 社会貢献活動に関する知識やノウハウがなかったため | 11.4% |
| 経済的な余裕がなかったため            | 10.7% |
| 社会貢献活動への意義が見出せなかったため     | 0.7%  |
| その他                      | 7.9%  |
| 無回答                      | 3.6%  |

出典：福井県「企業における社会貢献活動に関する調査」(平成28年度)

表2

表11 社会貢献活動に参加しなかった理由(複数回答)

| 社会貢献活動に参加しなかった理由        | 割合    |
|-------------------------|-------|
| 時間的に余裕がない               | 57.6% |
| 活動場所や内容等、ボランティア情報が分からない | 29.3% |
| いっしょに活動する仲間がない          | 19.0% |
| 自分がボランティアとして役に立つのか不安    | 15.8% |
| 体力的に余裕がない               | 15.8% |
| 金銭的に余裕がない               | 8.2%  |
| 対人関係が煩わしい               | 6.0%  |
| 社会貢献活動(ボランティア)自体に興味がない  | 2.7%  |
| その他                     | 7.1%  |
| 無回答                     | 21.2% |

出典：福井県「県民の社会貢献活動に関する調査」(平成28年度)

表3

表-2 大企業と中小企業のCSR活動の比較

|              | 大企業          | 中小企業          |
|--------------|--------------|---------------|
| CSR活動の捉え方    | 経営戦略         | 利他的な慈善活動      |
| ステークホルダーへの意識 | 一定の距離感を保つ    | 親しい関係を持つ      |
| CSR活動を行う動機   | 経済的な目的、競争力向上 | 倫理的観点、経営者の価値観 |
| CSR活動の体系     | 体系的で計画的      | 非体系的で非計画的     |
| CSR活動の評価     | CSRランキング     | 統一的な評価がない     |

資料：Vázquez-Carrasco and López-Pérez (2013), Jamali et al. (2009) を参考に筆者作成

## 4 考察

結果から一般の人の社会貢献活動への理解度が低いことと企業側もCSRについての理解が不足しているためCSR活動が十分に行えていないことがわかったので、まず一般の人々やCSRを行う企業側の人々にCSRはどのようなものであり、CSRをよりよく行っていくための情報を伝えていくことができれば県内の企業がより活発にCSR活動を行っていくことができると考えた。そして、その目的を達成するために、CSRの情報が一冊にわかりやすくまとめられたものがあったら良いのではないかと考え、「CSRパンフレット」をつくることにした。

その「CSRパンフレット」では、研究で得た知識やそれらを応用して考えたCSRを行うための工夫を載せた。具体的には、「CSRとはどういうものかということ」「人手が足りない企業ではどのようなCSR活動がおすすめるのか」などである。

#### CSRパンフレット



#### 目次

03~04

CSR活動について

05

CSR活動についてのアンケート

06~08

CSR活動実施に向けての工夫

#### CSR普及のために

本パンフレットは、県内の中小企業の方々向けに作成したCSRについての紹介用パンフレットとなっています。

私達は課題研究を通して、中小企業のCSR活動がもっと活発になれば地域がもっと元気になると考え、CSR活動を普及していくための活動を行っています。このパンフレットもその活動の一環で、中小企業の方々にCSR活動について正しく知ってもらう、いわば「気づき」を得ていただくために作成しました。アンケートなど様々なページがありますが、企業ごとに自由に活用してもらって構いません。

これを読んでいただくことで、「CSR活動ってこんなに身近なものなんだ」「これならできるかもな」などの様々な気づきがあれば幸いです。

パンフレット作成者  
安形光久

#### CSR活動とは

03

##### CSR(Corporate Social Responsibility)

は、企業が直接的に利益につながることでなく、周辺社会、ステークホルダーのための社会貢献活動も行っていくべきであるという考え方。難しく聞こえるが、なにかの成果を得ることではなく、地域社会のことを考えて動くとする過程が重要とされている。



#### CSR活動の例

04



祭りの開催や  
祭りのボランティアへの参加

伝統工芸と先端技術を  
掛け合わせて新製品を  
作成する



業種に応じて、  
学生や社会人向けに  
公開講座を開催する



地域の清掃活動を行う



## ① CSRについてどれくらいの理解がありますか？

1.聞いたことがない 2.聞いたことはある 3.全体的に正しい認識が理解はしていないで理解をしている。

## ② 地域社会のために自分の会社で行うべきだと思いますか？

1.思わない 2.思う

## ③ 一年でCSR活動にどれくらいの費用を使えると思いますか？

1. 0～10万円 2. 11～100万円 3. 101万円

## ④ CSR活動に対してどれくらいの人数が取り組みますか？

1. 1～10人 2. 11～30人 3. 31人～

## ⑤ CSR活動に対してどれくらいの時間を割けると思いますか？

※準備期間も含めて

1. 1～3日 2. 1～2週間 3. 1～2ヶ月

やってみたいCSR活動・CSRに対するイメージなど

## CSR実施に向けての工夫 06

## 1. 時間が足りない場合

CSRを大々的に行っている企業は、CSR実施のために時間を業務時間から出している企業もあります。回り回って自分たちの利益になるものなので、早いうちから経営戦略として成り立たせていくためにCSR活動のための時間を作ってみるのもいいかもしれません。

## こんな活動はどうですか？

スキルや知識の提供



地域の団体や学生へ資金提供

## 2. 資金が足りない場合

お金をかけないCSR活動というのは様々な会社が行っています。また、地域社会への貢献で大切なのは「人と人とのつながり」であり、どれくらいその活動に対してお金をかけているのかは活動の質には直結しません。

## こんな活動はどうですか？



地域ボランティアへの参加

会社周辺の清掃活動の実施



## 3. 人材が足りない場合

お金をかけないCSR活動というのは様々な会社が行っています。また、地域社会への貢献で大切なのは「人と人とのつながり」であり、どれくらいその活動に対してお金をかけているのかは活動の質には直結しません。

## こんな活動はどうですか？



オンラインプラットフォームの活用

小規模の活動から始める



## 大切なのは、やること 宣伝すること

CSR活動はやって終わりではありません。それをHPやSNSで発信することでようやく100%の力を持ちます。自分なりの活動を自分なりの方法で宣伝することで、地域社会に貢献してきませんか。

アンケートにご協力ください



作成：武生高校探究文科2年  
安形・柏崎・品川

※パンフレットで使用した写真はすべて著作権フリーのものです。

## 5 今後の課題

今後は、制作したパンフレットをより多くの企業に使ってもらえるように、様々な企業に送り、フィードバックをもらい完成形を目指していきたいと考えている。具体的には、パンフレットの未完成な点としては、主観的な部分があるところなので、めがねミュージアムの人と協力させていただき、客観的で適切なCSRの情報やCSRをよりよく行っていくための工夫をパンフレットに入れて、よりわかりやすいパンフレットにしたいと考えている。完成形ができたなら、市役所や、組合などに協力してもらい普及してCSR情報を広めていきたい。そしてゆくゆくは、企業の方々を対象にCSR情報を広められるイベントを開催するなど、自分たちも福井県内の地域社会がより良くなっていくようなCSR活動を行っていきたい。

## 6 参考文献

1.ふくい統計レポート No.9 福井県の企業規模別の産業構造について(2015)

<http://www2.pref.fukui.lg.jp/press/atfiles/pa251427677627cb.pdf>

2.福井ものづくり企業ガイドブック(2023)

<http://info.pref.fukui.jp/tisan/sangakukan/jitsuwa-fukui/pamphlet.pdf>

3.社会への取り組み | セーレン株式会社

<https://www.seiren.com/sustainability/society/index.html#anchor-06>

4.株式会社シャルマン

[https://www.charmant.co.jp/\\_files/ugd/2ef818\\_daed02e733e44ff4b42f853c612bd23a.pdf](https://www.charmant.co.jp/_files/ugd/2ef818_daed02e733e44ff4b42f853c612bd23a.pdf)

5.福井銀行

<https://www.fukuibank.co.jp/aboutus/csr/>

6.中小企業のCSR活動の特徴とその課題(2015)

<https://jasbs.jp/pdf/34-07kyo.pdf>

7.日本における中小企業のCSR活動(2017)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jabes/24/0/24\\_111/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jabes/24/0/24_111/_pdf/-char/ja)

8.企業の社会的責任(CSR)論の再検討(2010)

<https://core.ac.uk/download/pdf/229235134.pdf>

9.経営倫理は中小企業を強くするのか～CSR活動を中心に～(2015)

[https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/ronbun1508\\_04.pdf](https://www.jfc.go.jp/n/findings/pdf/ronbun1508_04.pdf)

10.まずは「経営理念」の真の実践を～アンケート調査にみる福井県企業のCSR現状と課題、そして提言～(2007)

[https://www.f-doyukai.jp/070\\_teigen/pdf\\_11.pdf](https://www.f-doyukai.jp/070_teigen/pdf_11.pdf)